理学療法士のあるあるネタ（Part1）

みなさんこんにちは。理学療法士の西村です。

今回は「理学療法士ならわかる～」と共感してしまう、あるあるネタをまとめてみました。あなたはいくつ共感してくれますか？（笑）

あるあるネタ14連発

1. 街を歩いている人の動きや姿勢をすぐ分析したくなる
2. 『骨』という字をみると『ほね』ではなく『コツ』と読んでしまう
3. リハビリの場面が映るドラマを見たらツッコミを入れたくなる
4. 白衣を着るとコスプレみたくて、テンションが上がる
5. ふと周りで『先生！』と聞こえたら反応してしまう
6. 患者さんの微妙な体調変化は気づくのに、自分の体調は意外と気づかない
7. 痛みが出たらリハビリのせいにされて戸惑う
8. 何の意味があるのかわからないリハビリを見たらイラっとすることがある
9. 『医師の指示のもと』とあるが具体的な指示を貰ったことは少ない
10. 患者さんからリハ拒否が出たら最初頑張るけど途中から面倒くさくなることもある
11. 気持ちいい治療をすると患者さんが依存的になる
12. ご高齢の方が困っているとなぜか放っておけない
13. なんだかんだ言っても患者さんが良くなるとやっぱり嬉しい
14. 自然治癒で治ったのにリハビリのおかげと言われて戸惑う

[illegible]

[illegible]

- **No.1**[illegible]

[illegible]
[illegible]2[illegible]

[illegible]

- **No.14**[illegible]

私は新人時代によくありました。（笑）

戸惑いというよりも、自然治癒で良くなったのか、リハビリの結果良くなったのか、すらもわからないことが多かったので、「リハビリのおかげ」と言われた時は返事に困りました。理学療法士ならば、評価技術も磨き続けて何故良くなったのか、あるいは良くならないのか、その評価をしっかりしなくてはダメですね。

以上、という感じで「理学療法士あるある」でした～!